

新しい道を切り拓いた いわての女性たち ⑧

【歌人】 ^{さいとう}西塔 ^{こうこ}幸子

西塔幸子は、岩手師範学校の女子部を卒業、小学校の教員となる。県内のいくつかの山村の学校に赴任、同僚であった西塔庄太郎と結婚、6人の子どもを育てる。教え子たちへの想い、酒乱の夫からの暴力、実子との死別、貧困、災害等の苦悩を歌に込めた歌人である。

1900（明治33）年、紫波郡不動町（現：矢巾町）の南部藩士の家に長女として生まれる。両親は共に教師であった。1913（大正2）年、九戸郡山口尋常小学校尋常科卒業。同年、九戸郡軽米尋常高等小学校高等科に入学。この頃から歌を作り始める。

幸子の歌は身近な人への愛に満ちている。貧困にあえぐ教え子たちを思う歌、病床の弟を思う歌、吾が子を愛しく思う歌、酒乱の夫を気遣う歌。生涯2千首あまりを詠み、様々な立場からの「女の生」を歌った。2010年8月、故郷矢巾町で生誕110周年を祝う会が開かれた。

声上げて 何か歌わむ あかあかと 夕日が染むる 野面に立ちて
生涯歌い続けた歌人の、第一声である

同僚の 冷たき仕打ちに 泣き濡れて うなだれながら 帰るうら道
1919（大正8）年、久慈尋常高等小学校の教員として赴任。

はるばると 遷されきつる 山峡に 今宵みる月の さやかなるかも
山間の学校を転任していた頃の歌。

酒飲まぬ 夫につれ添ふ ははそはの 母しみじみと 羨しかりけり
飲まない父と結婚した自分の母を羨む歌。80年前の岩手で、女性がこのような歌を詠むだけでも精一杯の抵抗だったのではないだろうか。

1936（昭和11）年、急性リウマチにより入院。5月31日に四男を出産。出産後まもなく6月22日回復することなく37歳の生涯を閉じた。



- 【参考文献】
- 『山峡』歌人西塔幸子生誕100周年記念出版（村松恵編集）
 - 『山峡』長尾宇迦（著）1996（講談社）

※西塔幸子の記念館が宮古市江繋にあります。

● 女性相談（本館）

相談受付電話 019-604-3304

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。
- 相談は無料です。秘密はかたく守ります。
- 相談開設時間

	10:00	17:00	20:00
月	10:00 ~ 17:00		
火	10:00 ~ 17:00		
水	10:00 ~	20:00	
木	10:00 ~	20:00	
金	10:00 ~ 17:00		

（第2火曜日、年末年始、祝日は休み）



もりおか女性センター

管理・運営：特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて

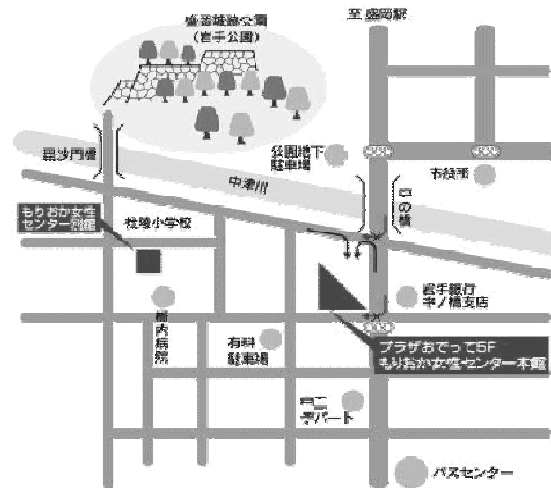
もりおか女性センターは、女と男がともに参画する社会をめざして女性を取りまく様々な問題を考え、解決するための施設です。男女を問わず、すべての市民が気軽に利用できます。

■ 本館

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって5階
電話番号 (019) 604-3303 FAX 050-2013-4750
開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:30（土日祝17:00まで）
休館日 毎月第2火曜日、年末年始

■ 別館

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町2-8
電話番号 (019) 624-3583（FAX 兼）
開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:00
休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始



（バス）
盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車
本館まで徒歩3分、別館まで徒歩8分

※女性センターには、本館・別館ともに専用の駐車場はありません。
おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

あとがき

◆日本列島全域、猛暑というか酷暑というか、とにかくへばりそうな暑いこの夏、拭いても拭いても汗は滝のように滴り落ちていきます。8/27～29 参加のヌエックフォーラム（国立女性教育会館）の帰路では38度という卒倒しそうな暑さを体験し、もう勘弁してと悲鳴を上げたいほどでした。涼風を心待ちにするこの頃です。（Y）

◆最近お昼は、毎日おにぎりのSです。おにぎりと言うと山下清画伯を思い出します。おにぎりを頬張りスケッチを楽しむブラウン管越しの画伯は印象的でした。ちなみに私も絵を描くのが趣味です。あとはリュックを背負ってランニング姿になれば「女性センターの画伯」と呼んでもらえるでしょうか？連載「新しい道を切り拓いた いわての女性たち」宜しくお願いします。（S）

ひとひと
一女と男、ともに参画する社会をめざして一

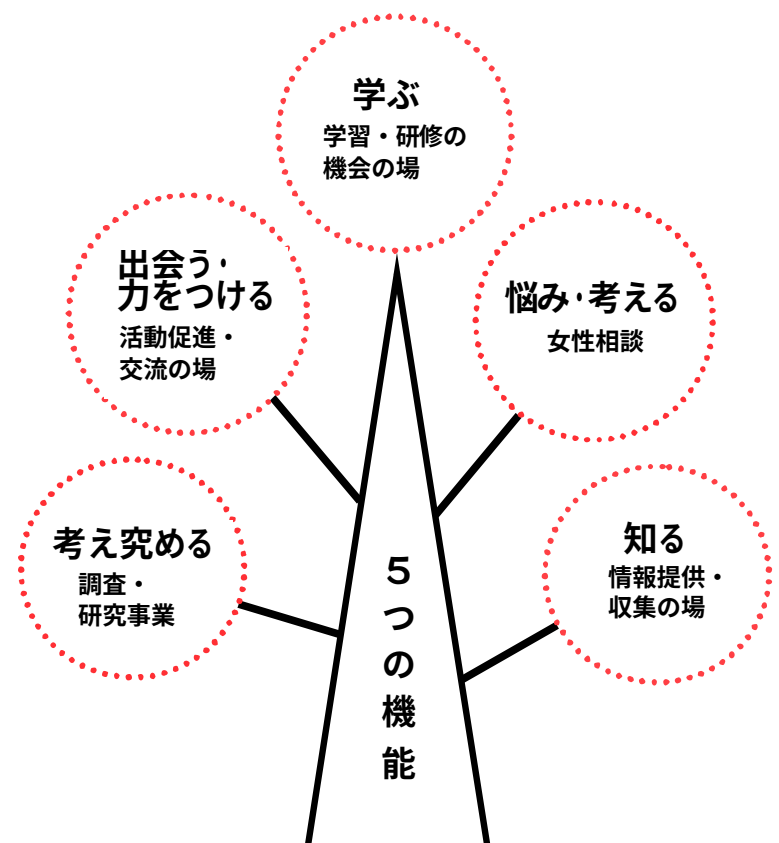
もりおか女性センター

ニュースレター

2010年
9月
No. 26

内容

- ◎ 事業「フェスティバル2010」案内
- ◎ 講座案内
- ◎ 図書の紹介
- ◎ 新しい道を切り拓いた いわての女性たち⑧「西塔幸子」



平成22年度事業テーマ
『女性センターで発見する わたしのチカラ みんなのパワー』

発行：もりおか女性センター

● 事業の案内

もりおか女性センター フェスティバル 2010 開催！

開催日：10月8日(金)、9日(土)、10日(日)

★年に一度のフェスティバル みなさんどうぞお越しください！

■オープニングセレモニー

10/8(金) 9:30より別館会場にてスタート

盛岡市男女共同参画情報紙(あ・な・は・ん)編集員会による男女共同参画の替え歌が披露されます。みなさんで一緒に歌いましょう！

【本館会場 10/9～10】

●ワークショップ

日時：10/10(日) 13:00～16:00

会場：おでって 3F 大会議室

「アイリスの会」によるピンクリボンプロジェクト啓発事業



●展示

日時：10/9(土)～10(日) 10:00～16:30

会場：おでって 3F 小会議室ほか

参加団体：盛岡高齢社会をよくする女性の会／男女共同参画情報紙編集員会／岩手女性史を紡ぐ会／盛岡シルバー人材センター「グランマの会」／もりおか女性の会／新日本婦人の会盛岡支部／女性センター主催講座「エンパワーメント実践編」受講生

【別館会場 10/8～9】

●別館の利用団体による発表

今年度の女性センター事業テーマ

「女性センターで発見する わたしのチカラ みんなのパワー」にそって日頃の活動の成果を発表します。

内容：作品展示、演技発表、茶席など

日時：10/8(金)～9(土) 10:00～17:00(9日は15:00終了)

※茶席は、10/8(金)10:00～15:00のみ

★その他に、お弁当やお団子の販売コーナーもあります。

みなさんのチカラとパワーをご覧ください！

●起業応援ルーム「芽でるネット」公開日！

＊芽でるネットをフェスティバルの期間中に公開します。インターネット活用体験や起業講座修了生の活動紹介など。

＊「名刺作りミニセミナー」

①10/8(金) 14:00～15:30

②10/9(土) 10:30～12:00

③10/9(土) 13:30～15:00

★当日会場にて受付。各5人(先着順)

無料 どなたでも参加できます。



起業応援キャラ：芽でるちゃん



おでって
ホール
イベント

10/9(土)

■映画『THE ダイエット』上映&監督トーク

オーストラリア在住のシングルマザー監督(関口祐加さん)が、自らのダイエット挑戦をドキュメンタリーに撮った！監督自ら被写体となり、文字通り、体を張った異色セルフ・ドキュメンタリー。

時間：① 13:00～15:00

② 16:00～18:00

入場料：前売 1,000円(当日 1,200円)

高校生以下 500円(当日共通)

※チケットは、おでって 2階の情報プラザ他市内プレイガイドにて販売。



映画会・講演会共に託児有。有料 1人 500円(6ヵ月～未就学児)要予約

10/10(日)

■講演会&シンポジウム

【第1部】基調講演 13:00～14:30

NHKスペシャル「ワーキングプア」

ディレクター板垣淑子さんの講演。

演題「なぜ女はいつもワーキングプアなのか？」

～報道から見てきたこと～

【第2部】シンポジウム 14:40～16:30

テーマ「女性と貧困 ～岩手のこれからを考える～」

パネリスト：板垣 淑子さん(NHKディレクター)

小野寺 けい子さん(盛岡医療生協理事長、医師)

竹村 祥子さん(岩手大学人文社会科学部教授)

コーディネーター：植田 真弘さん(岩手県立大学宮古短期大学学部長・教授)

※参加費無料。9/22(水) 9時から電話受付(☎604-3303)

広場市

10/9(土) 11:00～15:00

■おでって広場市開催！

女性センター起業講座修了生による農産物等の販売ともりおか福祉ブランド9団体が出場でテント販売。



● 起業応援ルームからのお知らせ

●女性起業芽でる塾入門編 part 2

～食と農から始めるわたしの仕事～

日時：10/30(土)、31(日) 10時～15時予定

会場：女性センター別館 起業応援ルーム

対象：食や農業分野で起業を目指す女性・12人

内容：起業の基礎知識の学習、先輩トークなど。

申込方法：Eメール、往復はがきで受付。10/21必着締切。

mederunet@sankaku-npo.jp

※詳細は、お問い合わせください。

●「起業応援ルーム」ご利用ください！

＊開館日 月曜から金曜 10時～17時

＊起業に役立つ図書を貸出中。

＊パソコンやインターネットの活用相談も受付しております。

＊ルームの空き状況は、ツイッターでも発信中！

【図書のご案内】

フェスティバル講演会「ワーキングプア」関連図書の紹介です。

①『ワーキングプア～日本を蝕む病』

②『ワーキングプア～解決への道』

NHKスペシャル『ワーキングプア』取材班・編
ボプラ文庫(2010年発行)

児童虐待、若年層の強盗やひったくり、急増する中高年の孤独死、借金苦の中小企業経営者の無理心中。毎日のように繰り返される事件を取材する中で、NHK社会部記者たちは感じていました。「日本社会の奥底で何か大きな地殻変動が起きている」と。時代の言葉となった「ワーキングプア」を定着させた番組取材班が綴るノンフィクションの文庫化です。「ワーキングプアは自然発生したものではない。グローバル経済、市場原理主義、労働市場の柔軟化、自己責任、国家が選択した道の先に生まれたものだ」と、まとめて番組担当者は語ります。この本をきっかけにすでに行動を起こしている人たちもいます。彼ら取材班が見てきたものから、私たちは何を学び、何をしなければならないのか。一読者のみで終わってはいけなと感じさせる2冊の本です。

③『ワーキングプアの反撃』

雨宮処凛／福島みずほ(共著)

七つ森書館(2007年発行)



家出とリストカットを繰り返し、若者の雇用や自殺について考える、元右翼にして作家の雨宮処凛さんと、社民党党首であり尚かつDV防止法、児童虐待防止法の制定、平和・労働・福祉・人権・男女平等・環境問題など国会内外で活躍する福島みずほさんとの対談をまとめた本です。若者の「生きづらさ」と「ワーキングプア」を生み出す格差社会の構造。それは、かつての女性たちの置かれていた状況に重なります。本書が書かれた2007年の労働者政策を福島さんは憂えます。3年経った現在も尚、混沌の中にある日本。「反撃」と言う言葉を使うなら、まだやれることがあると感じさせてくれる一冊です。